

住み慣れた地域での生活を考えるワークショップ参加者アンケート結果詳細
(平成29年12月9日実施分)

1. 回答者の属性

<地域住民>

1) 回答数

29名(白山台地区17名・長者地区6名・吹上地区4名・地区無記入2名)

2) 年齢構成(地域住民等)

20代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
2名	2名	3名	8名	10名	4名	29名

3) 性別

男性11名 女性16名 無記入2名 合計29名

4) 活動歴

	3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	合計
民生委員	1名	3名	2名	1名	3名	10名
地区社協	1名				1名	2名
町内会	1名	1名		1名	1名	4名
シルバークラブ 会員				2名		2名
八戸ニュー タウンまちづく り協議会			1名			1名
安全運転指導				1名		1名
特になし						2名
無回答						7名

合計 29名

2. 回答内容

<地域住民>

1) ワークショップに参加した感想

	白山台地区	長者地区	吹上地区	地区無記入	合計
参加してよかった	16名	6名	2名	2名	26名 (89.7%)
なんともいえない	1名	0名	2名	0名	3名 (10.3%)
参加する必要なし	0名	0名	0名	0名	0名

※自由記述

- 高齢になってきて、介護が必要になった時の相談ができる人がいない。色々な方法があることを知ることができた。
- 人と話すことの楽しさを味わいました。沢山意見が出て有意義でした。
- 討議内容が広範囲となり、対策のレベルが合わせにくい。
- 初めて会う方との交流ができて楽しかった。今、抱えている悩み、心配事が分かり、今後の活動に役立てられる。
- 多様な意見を聞くことができた。
- どんな方でも老後の一人ひとりに心配事があることが解った。参考になる。
- 人に触れることにより楽しい。
- 高齢者の方々の生の声が聞けた。現実問題や今後の希望を少し聞けた。
- 様々な意見が聞いて良かった。
- 若い方も年寄りを避けていない事が嬉しかった。飲み物を準備して欲しかった。
- 他の地域の方との交流ができました。また、同じく暮らしている方との悩み、また、不安な生活をしているなど色々な意見を聞くことができたことが良かったです。
- アイスブレイクでは、笑顔でストレスが取れました。地域の方のそれぞれの意見が聴けて良かった。
- 話すだけで楽しいのですが、色んな世代の方と様々な問題が聞いて参考になりました。
- 皆さん、大なり小なり悩みを持っているという共通できたこと。
- 参加した方の色々なお話が聞いて良かった。
- 他の町内のことを聞いて参考になりました。
- 学生や施設の方が入り、色々な話ができて良かったです。
- 多くの意見が聞けたこと。
- 多くの意見が出て大変参考になりました。地域で参考にして色々工夫してみます。
- 独居の方の意見を聞いて良かった。
- 本当に良かったと思っています。これからは楽しみです。
- 地域の方の生の声が聞けた。
- 若い人の問題、高齢の方の問題、対策を話し合うことができた。

2) ワークショップは継続すべきか

	白山台地区	長者地区	吹上地区	地区無記入	合計
継続すべき	13名	4名	3名	2名	22名 (75.9%)
なんともいえない	3名	1名	0名	0名	4名 (13.8%)
継続の必要なし	0名	0名	0名	0名	0名
無回答	1名	1名	1名	0名	3名 (10.3%)

※自由記述

- 問題発生した時、解決できないと意味がない。高齢化していく中で要介護、一人暮らしとなっていきます。安心して暮らせる方法が課題です。
- 地域で生活していくための方策がわかり、とても有意義であるため。
- 自分で気づかなかった事があって良かった。
- 出席者は前回と変え、皆が参加し、体験した方が良い。
- 日常生活であまり接していない人達と交流が持てて良かった。
- 地域の民生委員全部が、経験すべきだと思います。順々に参加したらいいと思います。
- 勉強になりました。学生さんと話をする事がないので良かったと思います。
- 問題はいくつもあるが、これからの問題としての考え方をもっと話し合っていくべき。
- 地域によって困りごとが違うため。
- 改善点がでたら、その後についてどうなったのかを話し合うなら、継続した方が良い。
- 皆が、これ程真剣に話し合う場を体験しました。
- 有意義であった。
- 情報交換としての場でもある。

3) ワークショップの改善点 (自由記述)

- まさに「介護予防になる」の様に、もう少し的を絞ったら。
- 地域で生活していくための方策がわかり、とても有意義であるため
- 聞き取りにくい (大勢過ぎる)。
- アイスブレイクで一気に和んだ。良かったですね。
- 最初は良くわからなかったが、説明を聞いて了解した。
- 大変よかったです。
- 学生さんの参加が多い方が良かったと思います。
- どうしても自分の身近な問題になりがちなので目的に沿ったものへ、もっていったら。
- 近所のふれあいが必要。民生委員との関わりが必要。

- いろいろとあると思いますが、このような「会」をより多く広めていく事だと思いました。

4) 学生が参加したことについての感想（自由記述）

- 若い人との話はとても意義深かったし、楽しい話し合いになりました。
- 福祉学科ということで、優しく接していただいたようだが、若い考えで物申すことがあっていいかと思いました。
- 若い方の意見が聞けて良かった。グループに学生がいることで、華やいで明るくなって良かった。
- 進行をしてくださったので良かったです。
- 現在の世代、状況を理解してもらえるので良い。
- 良いと思います。
- 将来を担う方々が興味を持ち参加してくださり良かったです。良い学生さんに恵まれスムーズに進みました。
- 司会や橋渡し役をやってもらって良かった。
- 楽しかったです。
- とても良かった。ふだん若い方と話すことがないので意見や考えが分かって嬉しかった。
- 若い年代の意見も聞け、少し自分も若い時間が過ごすことができた。意見もまとめてもらえる。
- 若い方のエキスを頂くことができ、とても良い交流でした。
- 頼りになり助かりました。若い人に何でもお願いしてしまう自分がいた。なんだか年を感じた。
- 若い人たちの意見も聞けたこと。
- 若い人なりにアイデアを出してくれ良かった。高齢者の現状をもっと知って欲しい。
- 大変良いことだと思います。若い人が高齢者のことを理解することはとてもいいと思います。こちらも学生さんが、「何がわからないか」を理解するのも必要です。
- 良かったと思います。八戸に住んでくれることを祈ります。
- 大変良かった。分からないことは率直に聞ける態度に好感をもった。
- 高齢社会になって、若い方々が、手伝いたいと思っていることが分かり、とても嬉しかった。
- 大変良かった。これからの若い人たちの活躍を望みます。
- 学生さんの参加を初めて経験しました。大いに賛成です。

5) その他（自由記述）

- 高齢者だけの集まりだと愚痴のこぼし合いで終わるが、若い人が入ってくれて良かった。

- 元気な高齢者同士で支えていくしかない時代に入った。
- グループが顔見知りの方々であったため、緊張することなく参加できて楽しかった。
- 自助、共助、公助が大切
- 他の地域の意見発表が素晴らしかったです。お互いに助け合う。
- 昨日の食事とか名前を思い出すのが苦勞したし、恥をかいたような状態。嫌でした。
- 残された人生、今まで味わったことのないような経験にしたいと思います。

1. 回答者の属性

<学生>

1) 回答数

9名

2) 年齢構成

概ね20歳

2. 回答内容

<学生>

1) ワークショップに参加した感想

	学生
参加してよかった	9名
なんともいえない	0名
参加する必要なし	0名
無回答	0名

※自由記述

- 自分たちでは気付けないようなことに気付くことができた。
- 各年代による様々な抱える問題や貴重な話があった。
- 地域の現状を知ることができるから。
- このワークショップは課題について話し合うということが第1に大切だと思っていたが、2回目の参加で、それより「今ここに20代や60代以上の人が一緒に話し合っている」ということに価値があることに気付けた。
- 自分が予想しなかった問題を知ることができ良かったです。楽しかったです。
- 様々な課題を知れて良かった。地域の人たちの本当の声を聞いて良かった。
- 地域の方の生の声を聞いて、とても良い議論ができたから。
- 様々な意見を聞くことができて良かった。

2) ワークショップは継続すべきか

	学生
継続すべき	9名
なんともいえない	0名
継続の必要なし	0名
無回答	0名

※自由記述

- 話すことは大切だと感じたから。
- 話し合いの場、問題を一緒に考えていく場だけでなく、1つの交流の場として、そして話し合いだけでなく、軽い雑談できる場としても、このワークショップは機能していると思うので継続すべきだと思う。
- 地域の知らないことを聞けるから。
- 住民（高齢者）にとって、ワークショップが社会参加活動となり、生きがいや楽しみになっていることが分かった。継続すべき。
- 私たちは、現状を知るために必要で地域の方は交流する場が、情報を伝える場として必要だと思いました。
- 課題がしっかりと出て良かった。ワークショップをやることで参加されている人たちに楽しんでもらえて良いと思う。
- 学生が地域の方の生の声を聞くことができる良い機会だと思うので継続すべきだと思います。
- 学びを考えにつなげる作業だと思うから。

3) ワークショップの改善点（自由記述）

- 資料2は見えにくいと思う。
- 飲み物が欲しいと言う声があった。普段、消極的な高齢者にもこういう場に出て欲しい。
- 飲み物が出れば良いという意見がありました。
- 飲み物があれば良いと思う。
- 水が欲しい。

4) 地域の方と接して思ったこと（自由記述）

- 地域の方の知らない話を聞くことができる。
- 世代間交流大いに望んでいたのも、このような機会はあった方が良かった・将来や災害時（特に一人暮らし）の不安の大きさがかなり伝わってきて、先の不安を減らすためには若いうちから死に方、人生の諦め方を考えようと思った。
- 一人ひとりの抱える問題は複雑で、それぞれ違うことを改めて知ることができました。
- たくさんの問題を抱えているのでたくさんの対策ができて良かった。もっと

大学としても地域の人達との交流を増やしていき、協力していけば、より良い生活ができると思う。

- ワークショップを通じて地域の方々は、様々な課題を抱えているということが分かった。
- 自分の住んでいる地域以外の高齢者の方の暮らしの様子が分かって良かったです。自分の地域の現状についても考えたいと思いました
- その地域でなければ、実際に生活しなければ分からないことを聞いて、話し合えて良かった。
- 人それぞれ抱えている問題だったり、思っていることなど、こういう機会がなければ聞けない話をたくさん聞くことができ良かった。
- 話を聞くだけで喜んでくれると感じた。

5) 地域の活動に協力して欲しいといわれたらどう思うか

	学生
協力したい	5名(55.6%)
協力は難しい	1名(11.1%)
なんとも言えない	1名(11.1%)
無回答	2名(22.2%)

※必要なサポートを自由に記載

- 情報提供の面、交通費のサポート
- 正式な文書、詳細さえあれば協力しやすい。
- 交通費が欲しいです。
- 事前に勉強したい。
- 見学をしたい。

6) その他(自由記述)

- この会こそが社会参加活動と呼ぶのかと思った。支え合いにしろ、地域交流にしろ自立心がないと、上手くいかないと思ったので、自立心を促すためにも良い機会だと思った。
- ありがとうございます。
- 非常に有意義な時間だったと思います。